

SPIKES

悪い知らせを話し合う場合のロードマップ

| ステップ | 例・ポイント |
|-----------------------------------|--|
| SET UP 会話に備える | <ul style="list-style-type: none">・話し合いに必要なものがすべてそろっているか確認する。 今日の話し合いに必要な情報 参加すべき人々 プライバシーの保たれる場所 |
| PERCEPTION 患者の理解を把握する | 「あなたの病気について、今まで他の医師からどのようなことを聞きましたか？」 |
| INVITATION 本題に入る前に 患者の許可を得る | 「これから前回の検査の結果をお話してもよろしいですか？」 <ul style="list-style-type: none">・話し合いの流れを作る権限を患者に与える。 |
| KNOWLEDGE 簡単にわかりやすく 伝える | 「肺癌が悪くなっていることがわかりました。もうこれ以上抗がん剤の治療は続けられません。」 <ul style="list-style-type: none">・患者に理解してほしい最も重要な情報を短くわかりやすく話し、その意味を伝える。(Headline)・専門用語は避ける。・Headline を伝えたら、次の情報を話す前に一度話すのをやめる。 |
| EMOTION 患者の感情に対応する | 「こんな話を聞いてつらいですね。」 <ul style="list-style-type: none">・患者の最初の反応は、感情であると心積もりをしておく。・感情をはっきりと認識する。・NURSE (感情に対応するスキル) を使う |
| SUMMARIZE 話し合った内容や今後の方針をまとめる | 「これからどうするかに関してお話してもよろしいですか？」 <ul style="list-style-type: none">・患者の心配していることを否定したり、「すべて大丈夫ですよ」と言ったりしない。 |